



新津 嗣郎 教授

◆経 歴

- 昭和42年 3月 京都大学文学部ドイツ語学ドイツ文学科卒業
昭和44年 3月 京都大学大学院文学研究科ドイツ語学ドイツ文学専攻修士課程修了（文学修士）
昭和44年 4月 愛知大学教養部専任講師（ドイツ語担当）（平成7年3月まで）
昭和46年 4月 名古屋大学教養部講師（兼任）（ドイツ語担当）（昭和57年3月まで）
昭和55年 4月 名城大学法学部講師（兼任）（ドイツ語担当）（昭和57年3月まで）
昭和57年 4月 ミュンヘン大学文学部客員研究員として留学（昭和59年3月まで）
昭和63年 8月 文部省教員組織審査 愛知大学教養部講師（専任）（ドイツ語担当）
平成4年 4月 名古屋大学教養部講師（兼任）（ドイツ語担当）（平成5年3月まで）
平成7年 4月 愛知大学教養部助教授（ドイツ語担当）（平成10年3月まで）
平成9年 8月 文部省教員組織審査 愛知大学国際コミュニケーション学部比較文化学科助教授
（「ヨーロッパの文学」「ヨーロッパの文化」等）
平成10年 4月 愛知大学国際コミュニケーション学部助教授
平成14年 4月 愛知大学国際コミュニケーション学部教授（現在に至る）

教育研究業績書

著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌又は 発表学会等の名称
(著書)			
1. 「もうひとりのわたし」—ギュンター・アイヒ放送劇集—	共訳	平成9年4月	松籟社
2. 流れ—運命と時について—ギュンター・アイヒ放送劇集II—	共訳	平成12年3月	松籟社
(学術論文)			
1. リルケ論の為のノート	単著	昭和50年3月	『文学論叢』第53輯 愛知大学文学会
2. リルケの初期の作品をめぐって—自然観を中心に—	単著	昭和61年11月	『文学論叢』第82・83輯 愛知大学文学会
3. ギュンター・アイヒ初期の詩“Abgelegene Gehöfte”について	単著	平成7年1月	『一般教育論集』第8号 愛知大学教養部
4. 言葉と現実—ギュンター・アイヒをめぐって—	単著	平成10年3月	『懐疑への誘い』所収 北樹出版